

経営の樹を育てる会

【第45回】2章 プロ経営者への道 Q&A

開催・日時：東京校 令和3年12月3日(金)18:30~21:00
場所：アーバンサービス 2階ふくろう オープン & zoom配信
出席者：【会場】高橋・山田(武)・鈴木(建)・鈴木(一)
【zoom】渥美・松本・大住・鈴木(友)
会場4名 zoom約4名 計8名参加
講師：古川益一
司会：高橋利至
書記・HP・設営：鈴木建太郎・山田武久・鈴木一弘・渥美沙緒里

開催・日時：名古屋校 令和3年12月6日(月)18:30~21:00
場所：ウインクあいち 1110室 オープン & zoom配信
出席者：【会場】熱田・渥美・小田・陸浦親子・榎本・安藤
【zoom】長尾・鈴木(友)
会場7名 zoom約2名 計9名参加
講師：古川益一
司会：渥美沙緒里
書記・HP・設営：渥美沙緒里・鈴木建太郎

先月は講師が入院したため、2ヵ月振りの勉強会となりました。

1. 学んだことをいただきました

- ① プロ経営者は品性を身に付けていることが大切と学びました。物事を大きく捉え、調和に向かうには心が重要なのです。心は無限大で、使えば使うほど進化し、人と調和していくことが出来るということ学びました。そんな品性の持ち主には、困った時に手を差し伸べて下さる方が現れるように感じました。あれも良いね、これも良いねと毎日を楽しく過ごしていきたいです。

◎Comment

このような経営者が運の強い人です。
運とは、偶然ではなく得るものです。
適格にまとめて下さり、感謝です。

- ② 経営とはなんたるか、その根幹の一端を学びました。
いかに心や信念が大切か、方法や技よりも己の在り方が最優先であると感じました。
その上で知識や真理を武器として持ち、世の中に素敵なものを与えていきたいと思えます。

- ③ 知識と真理の違いを教えてくださいました。
知識では「今日は苦しくても将来を考え、耐え、努力しなくてはならない」
真理では「今日に満足することにより、明日も良くなり、自然な形で成長していく」
今日、感謝し満足できなければ、明日も感謝し満足する事は出来ないとも教えてください、
今日、感謝し、満足する一日を過ごそうと思いました。
- ④ 今日知識と真理について沢山学ばせて頂きました。
特に印象に残ったのは、知識、見識、胆識の部分でした。
瞬時に判断しなければならない場面に出くわす事が多々あります。
今も難題に直面する場面があります。胆識にてジャッジできるように更に真理を追求、学んで行きたいと思いました。
前回と今回のプロ経営者への道の内容は、更に読み込んで行こうと思います。
古川先生、いつも有難う御座います。

◎Comment

知識と真理の違いを理解して下さり、大変うれしく思います。

知識と真理の違いを明確にすることが出来る人は意外と少ないもので、ほとんどの人が分かり切ったことと受け止め、右から左に流してしまいます。

しかし、この違いは、天と地程の違いがあります。人生を歩むには、両方とも必要なことではありますが、その捉え方によって結果は全く違ったものになります。

経営という仕事に携わるからには、この2つの違い、そして、2つの調和を取ることの重要性を悟らなければ、確実な経営は出来ません。

経営というものを知識として捉える世の中にあって当勉強会は、「知識は真理によって生きる」ことを広めていきたいと思えます。

「知識、見識は、胆識によって生きる その胆識を生むものが真理である」ことを悟れた人は、何事にも恐れず、正しい道を歩めると思えます。

- ⑤ 【プロは人を憎まず、恨まず、愚痴を言わず、喧嘩をしない。人は、人の力を借りないと生きていけない事を知っているからである】

この文章に凝縮されている意味について、今回の講義でことさら重要に感じました。これは勉強会の中で学ぶ「対境関係図」の中だけでなく、日常の生活の上に於いて関わる全ての人間関係にも言える事と思えます。例えば飲食店に入った時のスタッフに対する言葉遣い、自転車置き場に看守をされているシルバー人材スタッフへの態度、もっと言えば運転中に於ける他のドライバーへの配慮等々。

「すべての局面で我々は一人では生きていけない」と悟ることで、奢らず、謙虚に生きていく姿勢が、しいては会社経営にも直結するものと確信した次第です。

◎Comment

「人は人の力を借りないと生きていけない」ことは分かっているようでなかなか悟り切れないことです。

「人は一人で生まれて来ることは出来ない」「人は人のお陰で食べ物を得て生きていくことが

出来る」分かり切ったことですが、日々噛みしめて生きてゆきたいものです。

⑥ 流れに呑まれず流れに乗る事。経営には安定は無いという事。安定が無いから経営は楽しいという事。

今まで自分は真理を分かっていた気がしてました。自分の器の中で調和を計る。調和して行くことで自分の器が広がり出来る事も増えてくると感じました。自分が頑張るのではなく全て受入れ、周囲が自分を成長させてくれるように自然と出来る事が増えて来て、自然と人の役に立っている。これが真理なのかなって気がします。

◎Comment

真理というものを深く追求、徐々に分かって来られたように思います。

安定経営を望んでも、世の中は環境変化により、常に変化しています。どんな環境変化に遭おうとも、上手に流れに乗る極意を身に修めなくてはなりません。

特に今日の先の見えない情勢下、最も大切なことです。

少しずつ理解されていかれており、楽しみです。

⑦ 経営者の安心感のまとめは、経営者を19年程してきて振り返ってみて本当だと思いました。この会に参加する前の自分と、今の自分がずいぶん変わったと実感するまとめでした。

◎Comment

経営 19 年のベテラン経営者が実感される言葉は、大変重みがあります。

「売上げを上げよう」「利益を上げよう」「会社を大きくしよう」と頑張っている経営者に分かって頂きたい言葉です。ありがとうございます。

◎真理に支えられた経営の安心感

経営は、会社の内部的な要因だけでなく、置かれた環境、時代や自然などの変化に左右されるため、「このようにすれば必ずこうなる」という方程式は簡単には見つかりません。従って経営者は、将来に対する不安を持ち続けなくてはならない宿命を背負っているとも言えます。

その宿命を打ち破るものは、知識ではなく、「いかなる逆境に遭っても乗り越えられるという真理に支えられた安心感」であると思います。

経営者の安心感

- ・ 社員と、共に一体となって働くことが出来ている
- ・ 売上は、それほど頑張らなくても安定している
- ・ 利益も、毎年計上できている
- ・ ストレスも無く健康だ
- ・ 将来に対する夢を持つことができている
- ・ 様々な難局にも、社員全員の力を結束し乗り越えられる

この安心感は、「経営」を「真理」で捉えることにより得られるものです。

・真理は調和に進むため、争いが生まれません。

- ・己の運命に合わせるので、無理な努力を必要としません。
- ・形ではなく心の幸福を説くために必ず願いは叶えられます。

俄かに理解出来ないものと思いますが、先ずは知識と真理を対比することから、学びましょう。

これは、今月発刊の「経営の樹を育てる」5章に出て来ます。何気ないことですが、大変重要なことと思います。

- ⑧ 自分が苦しいときは、何かに感謝する意識か感謝が足りないから。感謝とは、広く大きく自分が受け入れる心のこと。「感謝→実行→反省」の繰り返しをやり続けること。

↑

これによって感謝パワーが蓄積されるように思いますので、楽しそうです表情にっこり

あと、シンプルに考えたほうがいい、ということも納得できます。

いろいろ好奇心から調べていくと、何でもかんでもに興味を持つ僕は、本当に大変。

だから、真理を理解し体験することで、シンプルな人生にしていこうと思います。

嫌だけど、悲しいけれど、部屋の本を一度ほぼ封印するか、捨てることも考えねばならない。人として、我欲に囚われている自分を手放すことにより、必ず何かが吹っ切れるということがわかるから。有限なる時間を、何から優先的に使えばいいかに迷いますが、感謝についていろいろ取り組みながら、経営と繋げることが、今の自分が一番わくわくできます。

◎Comment

「感謝」とは、辞書で引くと「相手の行為によって自らが恩恵や利益を受けたことを、積極的に評価する、礼を言うこと」とあります。

しかしこれでは、自分の主観で判断することになり、却って争いを生むことにもなりかねません。

真理で解釈すると、「広く大きく受け入れる心」となり、客観的に判断するため、争いは生まれません。

このように一つ一つの言葉についてもこだわりを持って歩むことは大切なことと思います。

- ⑨ 経営者の仕事とは、世の中の仕組み、摂理を学ぶことと知りました。とにかく全体のバランス感覚が大事と感じました。知識と真理もバランスを取ることで、楽しくなるのですね。そして、形のないものは壊れないということもわかりました。大事なことは生きがい、心であり、いかに楽しく生きるかなのですね。その意味でも究極、経営が続くことも倒産することもどちらに転んでも良いということは衝撃的でした。自分の人生を大切に、残された時間を大切に生きていきたいと思いました。

◎Comment

私は知識の世界での「人生は無限の可能性を秘めている」という言葉が好きで、自分自身に言い聞かせて、努力、常にその場その場で一番を目指して生きてきました。

しかし真理、つまり、世の中の摂理から考えると、大変幼稚な言葉と悟りました。

「人生は有限であり、日一日と死に向かって歩いている」ことが真理です。

その有限の人生を自覚すると一日たりとも無駄にはできません。会社の倒産についても、会

社の本質を追求してゆけば、「生活の手段」に行き着きます。それならば「倒産」、つまり、「経営者としての人生を倒し、有限の幸福な人生を産む」ことの方が大切と考えるようになりました。これから明るい倒産、「ハッピーリセット」の考えが大切になるように思えてなりません。

⑩ 真理は、表と裏あり、良い時もあれば、悪い時もあり、心はいつもフラットにするのが重要。

◎Comment

真理を簡単に一言で言うとその通りです。

表もあれば裏もある。良い時もあれば、悪い時もある。この考え方が陰陽思想であり、易経、老荘思想の原点になっています。是非追求して下さい。

⑪ プロ経営者として、10カ条を教えて頂きましたが、知らなかった事、出来ていない事ばかりです。これから日々精進してプロ経営者を目指していきいと思いました。

◎Comment

プロ10カ条は、全て心の世界の教訓です。

自分自身の心を変えるだけで即、理解出来ることばかりです。

いかにして自分自身の、今まで勉強してきた知識を一旦横に置くか？を考えて頂ければすぐ理解出来ると思います。

⑫ 3つの決定をしっかりとる。
経営者としての寿命を決める

◎Comment

3つの決定は、「可決する、否決する、先延ばしする」ですが、簡単なようで難しいものです。決して焦らず、時期を待つことも大切です。

又、経営者としての寿命は主観的に決めるよりも、客観的に判断した方が良いように思います。

私の再建コンサルタントの仕事は、会社の再建ですが、経営者の寿命について考える事が多くなりました。

大変難しいことですが、基本は楽しく生きるにはどうするか？に行き着くように思います。

⑬ ついつい、自分で仕事のやらなければならないこと、その物事を行おうとしてしまいます。人に任せること、日々の仕事の中で、周りの職員にお願いしてみたいと思います。

◎Comment

どうしても目の前の仕事は、やってしまうものです。

それは、積極性と言う形で評価されます。

しかし、組織として人の上に立つ立場になると、全体を考えなければならないようになっていきます。良い意味で人を頼ることも大事なことと思います。

2. 質問にお応えします

Q1. 陰陽思想についてです。陰と陽というと正反対のように思っておりました。2 つのうちどちらが良いとか悪いではなく、「あれも良いね、これも良いね」と同じ考え方でしょうか。

◎Answer

陰と陽は一对であり、一体です。分けて考えることではありません。

「陰転じて陽と成し、陽転じて陰と成す」の通りです。

従って、常に2つのことを同時に考えたり、見る習慣を身に付けたいものです。

それを一言で言うと「あれも良いね、これも良いね」になります。

今までは、「あれが良い、これが良い」として生きて来たのではないのでしょうか？

つまり、「が」から「も」への意識転換と言えらると思います。

Q2. 【プロは時間のものさしが無い】

物事には賞味期限があり、プロは自分の都合を持ち出さないとあります。しかしながら、稀に徹夜するなど許容できますが、あまりにもご要望が多くなってきた場合、健康面・精神面に影響を及ぼすと考えております。

”時間のものさしを無くす”ことは非常に重要だと思えます。しかし、24時間を有効的に配分して、メリハリをつけて業務に携わる方が自分のワークスタイルに合っていると感じており、時間のものさしはあった方が良い、というのが持論です。この考えは古川先生から見てどうお感じになりますでしょうか？

忌憚なきご意見、よろしくお願い申し上げます。

◎Answer

仕事は全て自分自身でこなさなくてはならないと思っていないのでしょうか？

仕事にも陰陽があり、陰は目に見えないもの、陽は見えるものです。

どちらが重要かと言えば、陰の目に見えないものです。目に見えない陰の世界があり、陽の世界が形を作ることにより、成り立っています。陰は時間、陽は空間です。つまり、陰の世界(目に見えない世界)では、時間を短縮することは可能です。

陰の世界において、時間のものさしを無くすことは難しいことではありません。陽の世界、つまり、形を作ることについては、当然一定の時間が必要です。

そのためには、人の力を借りることにより解消できます。

これが、会社組織です。

しかし、他人の力を借りる時、必ず一定の考え方が必要です。これが、経営理念ということになります。

真理で考えることは、陰陽で考えることにも繋がります。

お分かり頂けたでしょうか？

詳しくは口頭で説明します。

Q3. 私は、感謝やおもいやりのエキスパートに出来るだけ早くなりたいと思っています。なぜなら感謝の心が、いろんな方々の幸せの考え方を生み出して、地域の人々が健康になると感じるから。

質問は、感謝 NO1 や、おもいやり NO1 の、世界一と日本一。古川さんの答えを教えてください。あと、自分の感謝の心に意識していき、より早く感謝力を身につけるためには、①何を大切に考え、②どんな心持ちで、③具体的にどういう反省の仕方をし続ければ良いと思われませんか？

◎Answer

感謝 No.1、おもいやり No.1、などは形の世界のことです。心の世界では、相手の受け止め方により、常に変わるものです。順番などは存在しないものです。

「感謝力」も形の世界になります。

「人間力」なども良く聞きますが、力で表現するものでもありません。

例えば、産まれたばかりの赤ちゃんは、全て人の力を借りなければ生きてゆくことは出来ません。

しかし、お世話するお母さんや、家族は迷惑を掛けられていると思うのでしょうか？

感謝を持ってお世話している筈です。

このような回答でご理解頂けるのでしょうか？

そして、反省の仕方ですが、これも形の世界ではありません。相手に対しての思いやりの結果として判断するものです。

つまり、受ける相手の反応によって常に変化するものです。

Q4. 真理で生きて行くことは普段からの準備が必要な気がしました。理念を中心に常に何をすべきか用意する。その常に高い意識の中で、流れに乗って事象が起こる、そこに自分自身が調和して行く。

何か漠然としていますが、このような感じで行けば無為自然と生きて行くことが出来るのでしょうか？

◎Answer

真理で生きていることを形の上で捉えているように思われます。

もっと何も考えず、自然に任せることです。

無為自然は、老荘思想の基本ですが、「この生き方が、生きる道だと知った段階で、それは道ではなくなる」と言っています。

つまり、「このように生きていくことを説明できるような道は本物の道ではない」と言うことになります。

どうしても、知識の世界で努力していると、このような考えを持つことになると思います。

口頭で話し合いたいと思います。

Q5. 「調和」とは何となく安定したイメージがあるのですが、常に動きがあり、その時その時によって納まりどころが変化するものなののでしょうか。

◎Answer

調和とは、「和に向かって調える」ことになると思います。しかし、これも陰と陽の両面から考える必要があります。

「陰」は、どうしても守らなければならない道理のことで、その時その時で変化するものではありません。「形」は足して 2 で割るような平均値です。従ってその時々に変化するものです。納

まるところは必ず一定です。

物は上から下へ落ちます。その道理に合わせることに一定と言えると思います。

中庸という言葉があります。これも足して2で割ることではなく、真理に合わせるという意味です。

Q6. 真理や経営者(プロ)への勉強は先生の講義以外では、おすすめなものは何かありますか？

◎Answer

私の言う真理は、短い人生経験とわずかな書物から考えたものであって、真理の入口にも入っていないかもしれません。

もっともっと沢山あると思います。

口頭で話し合いたいと思います。

Q7. どうしても、努力とか、頑張るとかの知識の考え方になって行動してしまいます。真理の考え方で行動できると良いのですが、まず具体的にどのようにしたら良いでしょうか？

◎Answer

これは大変難しいことです。多くの経営者が最終的に行き着くのが真理というものです。

一生を通して近づいていくものと思います。

まずは、感謝—実行—反省を繰り返す毎日を日記帳に付けることから始めたらいかがでしょうか？

Q8. 知識は、知識として、理解ができるのですが、やはり真理となると、なかなかパツと理解できないと言うか… 知識から真理に置き換えるのをとても難しく考えてしまいます。このことは、やはり日々、意識すること、訓練することが大切なのでしょう？自然に身につけられると良いなと思います。

◎Answer

今まで知識の世界で生きてきて、突然真理と云われても俄かには理解出来ないことと思います。

知識と真理の比較表をじっくり眺めながら、毎日、就寝する時に日記帳などで振り返ることを習慣にしたらいかがでしょうか？

徐々に身に付いていくものと思います。

3. 勉強会で学ばれた内容がありましたら教えてください。

① 理念や信念を大切に生きてきて大成した事例があればお話を聞いてみたいです。

◎Answer

私は再建コンサルタントとして「経営理念を打ち立てること」から着手してきました。その結果、多くの会社は甦りました。

今日まで 300 件程こなし、その内 45 例をインターネットにアップしてあります。「再建事例」で一頁目、トップに出ておりますので、是非お読み下さい。
そして、「経営の樹」秋冬編にも掲載予定です。(来春発売)

② 人徳レベルアップの方法

◎Comment

通常の間人としての徳と、経営者の徳は根本的に違います。
経営者の徳は、品性と言っています。
経営者の品性は、人間性と経済性のバランスを保てることです。
テキスト 50 頁、グリット理論による組織心理学をご覧ください。
そして、レベルアップの方法は、知識と真理の調和を考えながら、プロ経営者への道を諦めないことと思います。

③老荘思想の道について勉強したいです。中道と陰陽思想をどのように融和させればよいのでしょうか？陰陽が黒と白なら中道は灰色となるのでしょうか？

◎Comment

陰陽とは、世の中のもの全てが陰と陽で成り立ち、常に入れ替わっているという意味です。
中道とは、「片寄らない、中正の道」と解釈するなら、真理となり、前述の中庸になりますが、実際は、どちらにも片寄らない平均的な道になってしまっているのが現実と思います。これは、真理で考えると、本来の姿ではないと思います。

4. 勉強会を通じて、自社(個人)にどんな成長を望まれているか教えてください。

- ① 理念や心といった根幹と技術や能力を兼ね備えた経営者に
そして世の中や共に営む仲間を幸せにしていく存在を目指しています。
- ② 自分が会社の経営者ですが、その立場からどうしても社員に気を遣ってしまう。信じてないからなのかなーと考えます。
スタッフや家族に対して、どんな時でも感謝できるように、感謝で人やお金や仲間が稼げるようになりたいです。
- ③ 根っこを地面にしっかり生やして大きな幹で、自社で出来る貢献を地元に戻して行く。多くを望まずまずは目の前の人達から援助できるような、そんな体制、人材を創っていきたいと感じました。
- ④ 学んだ知識も真理も、実践して自分の人生に活かし、正しい努力をしてゆっくと成長していきたいです。
- ⑤ 息をするかの如く、自然に経営できるように成長したいです。
- ⑥ 今日勉強したことを、テキストを読んで復習する。

⑦ 仕事(経営)と家庭生活は人生の豊かな過ごし方。
※お金がないと時間が過ごせない。

⑧ 明日から経営者になった気分で、会社に行きたいと思います。

◎Comment

それぞれ抱負を語って頂きました。
素晴らしいことと思います。

5. 勉強会を通じて、自社にどんな成長をのぞまれているか教えてください。

① 次回は、一枚の大きな用紙に大きな木を描いて、参加者のビジョンを語り合いたいです。

◎Comment

素晴らしい提案です。皆さんも用意して下さいそうですね。
私も用意してまいります。

② 退院おめでとうございます! 嬉しいです(^^)

◎Comment

ありがとうございます。
突然のことでびっくりしましたが、無事退院出来ました。更に一日一日を大切に生きようと誓った次第です。

以上